

団体名：特定活動非営利法人女性のスペース結

助成額：99,964 円、助成回数：3 回

【「未来につなぐ募金」助成事業活動の目的】

現在、厚生労働省が発表した「国民生活基礎調査の概況」（2016 年度版）によると、男性 22%。女性 58%が非正規雇用で、経済的に不安定な状況です。その状況は子どもがいる家庭においても同様です。例えば、2018 年 2 月 14 日の東京新聞一面には、貧困家庭の 7 割が、子どもたちの塾や習い事、海水浴やキャンプ、部活動などを経済的な理由で断念しているとの記事が掲載されました。こうした状況は他の様々な場所でも報告され、子どもが子どもらしく育つ環境にないことが顕在化しています。中でも、シングルマザーの平均収入は、養育費や児童扶養手当を入れても、300 万円に満たない現状（OECD 加盟国中で最低）であり、まさに貧困の問題に直面しています。特に子どもたちにとって深刻なのは、食に関する問題です。貧困のため十分な栄養がとれないということだけではなく、親が仕事で不在のため、ゆったりとくつろぎながらその日一日のことを話し、食事をするという経験が奪われているのです。食に関する権利は、様々なある基本的権利の中で最も根底にあるものです。その権利の剥奪が、今や日本中に見られます。中野区でもこの事は例外ではありません。中野区に在住する当団体のスタッフが「コンビニのゴミ箱をあさる子どもを目にして、胸が苦しくなった」と他のスタッフに話したことがありました。その時以来、子どもたちに美味しいもの、栄養のある物を食べてもらえるよう民間団体としてできることがあるのではないかと考え、今回「子ども食堂」の立ち上げを決意しました。経済的に困難な家庭の子どもたちを食の面から支援したいと考えています。大家族の食事を知らない若い世代に、皆で一緒に食事を作り、おしゃべりしながら楽しく食卓を囲み、笑いあう経験をしてもらえれば幸いです。そしてさらに、子どもを中心として地域が活性化していく、そのような光景を思い描いています。

【「未来につなぐ募金」助成事業活動のまとめ】

健康的な栄養の偏らないものをバランス良く食べていない子どもに、食の大切さを伝えたいという思いで食事を提供してきました。そのことは果たせたと思います。また、経済的な問題を気にせずにご飯をたべてほしいという思いも果たせたと考えます。ただ、一人又は兄弟だけで食事をしている子どもに届いたかという点も難しいです。そのような子ども達に出会うという点も難しいですし、行きかえりの安全を確保できるかと問われると難しい面もあります。ただ活動を続けるうちに顔見知りになりそれぞれの事情や周りの情報も得ることができるようになってきています。食材の提供を受けたことで経済的な見通しができ、もう少し豪華にふるまえるかなという心の余裕が生まれます。運営する側のこの余裕はとても大事で励みになっていると思います。

子ども
しょくどう

ゆい

ひとりでごはんをたべてない？

たのしくおいしくたべてる？

子どもしょくどうをひらきます

つぎは

7月25日 がつ にち よう び すい 曜日

ぞご6じから8じまで

にしやまガーデンハウス 202
なかのく かみたかだ 2-58-11

ピンポン押して
はいきます

いっしょにごはんをたべましょう。

おとな ￥300 以上 (お気持ちで)

※後片付けなどのお手伝いもお願いします。

子ども だけです。のこさずたべましょう。

めにゅー

ごはん・スープ・サラダ・おかず2しゅるい

デザートあるかな？

東都生協「未来につなぐ募金」から一部の食材提供を受けています。



子ども食堂ゆい

2018年7月11日水曜日 18:00~20:00

女性のスペース 結 (西山ガーデンハウス)



献立

雑穀米入りご飯

卵わかめスープ

鶏中華煮+豆腐

切り干し大根煮物

野菜サラダ

アイスクャンデー